



地域の歴史を伝えるために街道に関連した修景が施されている



石造りの常夜灯



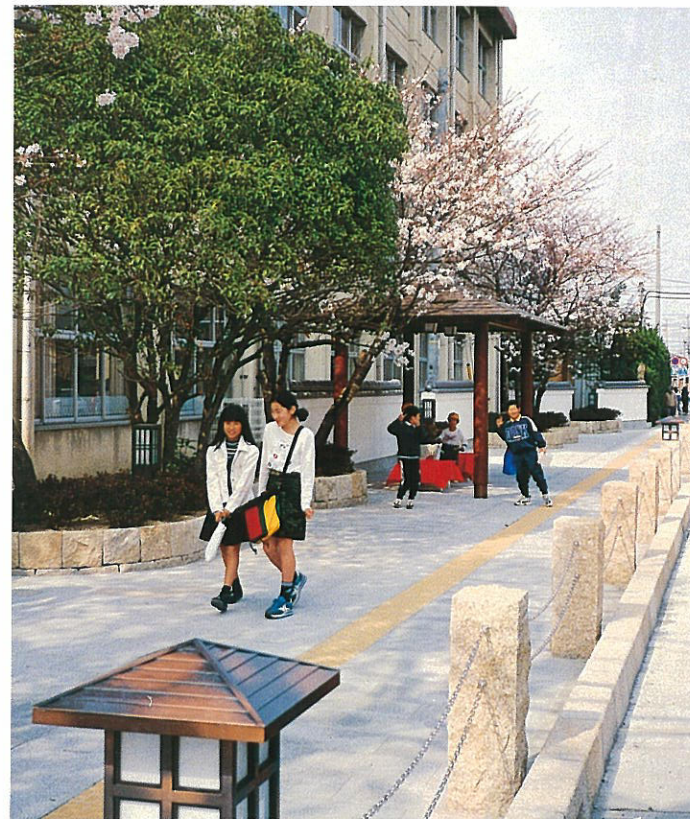
小学校前の交差点にあるため多くの人々に注目されている

#### DATA・BOARD ⑭

- ① 滋賀県野洲郡野洲町大字小篠原
- ② 延長：76m，幅員：2.0～5.5m
- ③ JR東海道本線野洲駅から徒歩約5分



## 14 中山道・外和木の標



野洲町を縦走していた旧中山道は、古くから多くの地域を結ぶ街道、また地域の生活軸として大きな役割を果たしてきたが、時代の移り変わりとともに、新しい道路が整備されていき、その存在が忘れ去られようとしている。このため、地域における中山道の果たしてきた役割と歴史を後世に伝えていくことを目的に「中山道・外和木の標」の修景整備事業が行われた。

整備にあたっては、住民と行政による共同の取り組みのもとに事業が進められ、地元自治会からの代表者などの意見を取り入れた計画立案を行い、この過程の中で歴史的な背景や事業の目的を理解してもらい、地域への意識を高めていくことに考慮した。

整備箇所には、歴史的な街道である中山道をイメージさせるために、漆喰塗りの白壁や石畳、常夜灯、四阿を設けたほか、背後地に桜などの植樹を行っている。また、外和木の標の名称は、ここから西に向かった場所が、江戸時代に朝鮮の外交使節団を迎えた朝鮮人街道と中山道の分岐点であったことに由来しており、その案内板も設置されている。

この修景整備事業により、地域の歴史的背景を多くの人に紹介する場が生まれ、住民が地域の歴史に親しむ契機となっている。